

高校地理プリント（過去問類似）
地理B（旧課程の過去問） No.2

名前

得点

/10

問1 富山県の砺波平野では、農業の機械化に伴う耕地整理や人口増加による住宅地への転用が進む一方で、伝統的な家屋の広い敷地が維持され、かつてのあぜ道がすべて広幅員の道路に変化したわけではないという特徴をもつ。このような、個々の農家が周囲に自らの耕地を従えて分散して立地する集落形態を何というか。 (2022年 全国公立入試 類似)

1. 路村 2. 塊村 3. 街村 4. 散村

問2 アブラヤシの果肉から得られ、食用油や石鹸の原料、さらにはバイオ燃料としても需要が急増している植物油であり、インドネシアとマレーシアの2国で世界生産の大部分を占める農産物は何か。 (2015年 全国公立入試 類似)

1. オリーブ 2. ココヤシ 3. パーム油 4. テンサイ

問3 世界の木材伐採において、アフリカやアジアなどの発展途上地域で伐採される木材の多くは、主に家庭用などの燃料として消費される。このような用途に供される木材の名称を何というか。 (2025年 全国公立入試 類似)

1. 建築材 2. 薪炭材 3. 合板材 4. 燃料材

問4 野焼きや草刈りといった人間による定期的な働きかけによって維持されてきた草原や里山のように、自然と人間活動の相互作用によって形成され、独自の生物多様性が保たれてきた環境を何というか。 (2023年 全国公立入試 類似)

1. 自然保護区 2. 絶滅危惧種 3. 二次的自然 4. 生物多様性

問5 南アメリカ南部に位置する国において、東部の湿潤地域では小麦やトウモロコシ、大豆の栽培や肉牛の飼育が行われ、西部の半乾燥地域では羊などの放牧が行われている、同国の農業・牧畜の基盤となっている広大な温帯草原の名称を何というか。 (2006年 全国公立入試 類似)

1. リャノ 2. セルバ 3. パンパ 4. カンポ

問6 18世紀後半に始まった技術革新と社会構造の変化に伴い、イギリスのペニン山脈西麓に位置するある都市は、近隣の炭田や湿潤な気候、港湾都市リヴァプールとの結びつきを背景に、綿工業の中心地として急速に発展した。この都市の名称を答えよ。 (2017年 全国公立入試 類似)

1. コヴェントリー 2. シェフィールド 3. マンチェスター 4. ニューカッスル

問7 EU域内の貿易においては、地理的近接性が貿易構造に強い影響を与える。イベリア半島に位置する国々のうち、陸上で唯一国境を接する隣国であるスペインへの輸出入の依存度が極めて高い国はどこか。 (2017年 全国公立入試 類似)

1. ハンガリー 2. デンマーク 3. ポルトガル 4. ポーランド

問8 日本の人口構造の推移において、15歳以上65歳未満の人口区分を何というか。この人口区分に対する年少人口と老年人口の合計の比率は、高度経済成長期から1990年頃にかけて低下し、日本に経済成長をもたらす要因となったが、その後の少子高齢化により再び上昇傾向にある。 (2023年 全国公立入試 類似)

1. 年少人口 2. 老年人口 3. 従属人口 4. 生産年齢人口

問9 イタリア半島を南北に縦断する新期造山帯の山脈であり、活断層が多く地殻変動が活発なため、過去から現在にかけて山崩れなどが多発し、地形の侵食速度が非常に速いことで知られる山脈は何か。 (2023年 全国公立入試 類似)

1. カフカス山脈 2. ピレネー山脈 3. アルプス山脈 4. アペニン山脈

問10 カナダのケベック州に位置するモントリオールは、古くから繊維工業などの多様な工業が発達した港湾都市である。この都市が内陸水運の拠点として発展する地理的要因となった、五大湖地方と大西洋を結ぶ河川の名称は何か。 (2009年 全国公立入試 類似)

1. セントローレンス川 2. マッケンジー川 3. ミシシッピ川 4. コロラド川

答え合わせ・解説 No.2

問1	答え 4 散村	富山県の砺波平野に広がる散村では、農業の機械化や効率化による耕地の長方形区画への整理、人口増加や核家族化に伴う耕地から住宅地への転用、伝統的な家屋の広い敷地面積といった特徴がみられます。しかし、かつての耕地を区切るあぜ道のほとんどが舗装されて幅の広い道路に変わったという事実はなく、これが誤りです。このような家屋が分散して立地する集落形態を散村（散居村）と呼びます。
問2	答え 3 パーム油	アブラヤシから採取されるパーム油は、近年、食品用だけでなくバイオ燃料としての需要も高まっている。生産量はインドネシアとマレーシアの2国が世界の大部分を占めており、熱帯雨林の伐採による環境破壊などが問題視されている。
問3	答え 2 薪炭材	発展途上地域では、家庭用の調理や暖房などの燃料として木材が広く利用されている。このように燃料として用いられる木材は薪炭材と呼ばれ、アフリカなどの地域で伐採量に占める割合が非常に高い。一方、先進国が多い北・中央アメリカなどでは、建築用の製材・丸太や紙の原料となるパルプ材としての利用割合が高くなっている。
問4	答え 3 二次的自然	野焼きなどの定期的な管理活動によって維持される草原や里山は、二次的自然と呼ばれる。これらは放置すると遷移が進行して森林へと変化し、草原特有の生物多様性が失われてしまうため、ボランティアなどによる継続的な保全活動が必要とされる。
問5	答え 3 パンパ	アルゼンチン東部に広がる温帯草原はパンパと呼ばれる。年降水量約550mmを境に、東側の湿潤パンパでは混合農業（小麦・トウモロコシ・大豆の栽培と肉牛の飼育）が行われ、西側の乾燥パンパでは粗放的な牧畜が行われている。
問6	答え 3 マンチェスター	18世紀後半のイギリスにおける産業革命に伴い、ペニン山脈西麓の炭田や、綿糸が切れにくい湿潤な気候、そして輸入原料や製品の輸送に便利なリヴァプールとの近接性を活かして、綿工業が急速に発達した。これにより、世界的な繊維工業の拠点として人口が急増し、近代的な都市へと成長した。
問7	答え 3 ポルトガル	EU域内では地理的に隣接する国同士の結びつきが強く、特にポルトガルは唯一の陸上隣国であるスペインへの貿易依存度が極めて高い。スペインにとってもポルトガルは重要な貿易相手国であるが、経済規模の差からポルトガル側の依存度がより顕著になる。
問8	答え 4 生産年齢人口	15歳以上65歳未満の人口区分は生産年齢人口と呼ばれる。生産年齢人口に対する、年少人口（15歳未満）と老年人口（65歳以上）の合計の比率（従属人口指数）が低下することは、働く世代の負担が相対的に軽く、経済成長を促しやすい状態（人口ボーナス）を意味する。日本では1990年頃にこの指数が最低となったが、その後の少子高齢化により生産年齢人口が減少したため、指数は上昇している。
問9	答え 4 アペニン山脈	アルプス・ヒマラヤ造山帯（新期造山帯）に属するこの山脈は、プレート境界に位置するため活発な地殻変動や活断層の活動が見られる。このため地盤が不安定で山崩れが発生しやすく、過去・現在ともに非常に速いペースで侵食が進行している。
問10	答え 1 セントローレンス川	モントリオールは、五大湖と大西洋を結ぶこの河川の航行限界点に位置している。この河川は運河やロック（閘門）の整備によって大型船の航行が可能となり、北アメリカ内陸部と世界を結ぶ重要な水路として機能している。